

【はじめに】

こんにちは。今年度4月1日付で本町の教育長を拝命いたしました
上田 薫と申します。よろしくお願いいたします。



前、岡 弘明教育長からのバトンに込められた、この町の「子どもたちの学力
及び人間力の育成」や、「スポーツ・文化活動の継承」「生涯教育・社会教育の取組及び環境の整備、
充実」「文化財の保全や魅力の発信」等、この町の伝統や持ち備えている味わい・良さをしっかりと
受け継ぎ、未来へとつないでいくこと、そして、この町で暮らすすべての人々の笑顔が絶えるこ
となく、明るく、活力に満ち溢れたものであるよう、誠心誠意努めてまいります。

何卒、よろしくお願いいたします。

【大雨に備えて】

7月に入った初日から、大雨による警報が本町にも発令され、各学校が臨時休校となりました。
気象予報士の方の話では、今年の梅雨はいつもと違う傾向があるようです。全国的に梅雨入りが
例年より遅く、また、梅雨に入った早々から警報級の大雨と猛暑が隣合わせになっており、常に警
戒感を持っておく必要があるとの事です。ここ数年、梅雨の降り方がとても激しく、全国の至る所
で線状降水帯が起こりやすくなり、その度に甚大な被害がもたらされてしまっています。

先月末、臨時の校長会を開き、大雨による気象警報等が発令あるいは発令が予想される場合の
対応等について確認を行いました。原則は、「午前7時現在、平群町に大雨や洪水、暴風雨等の気
象警報が発令された場合は臨時休校とする」です。

また、登校後に警報が発令された場合については、その後の雨の激しさを十分観察し判断しま
す。例えば、午前中に警報が発令され、午後から雨の勢いが一層強まる場
合には、授業を取り止め、できる限り早めの下校措置を取ります。一方で、
警報が発令されている時に雨のピークを迎えていて、その後しだいに雨が
弱まっていく場合には、そのまま学校に子どもたちを留め置き、通常の下
校時刻になってから下校をさせます。



**いずれも、給食を食べさせることを基本とし、何よりも、児童生徒の安全を第一とした判断をい
たします。**

ご家庭には、詳細の対応方法について、各学校からメール等によりお知らせいたします。

【熱中症へのご注意】

今日も大変暑い日となっています。気温もぐんぐん上昇してきています。

昨日の静岡県の気温が、39℃を超えたというニュースを見て驚きました。人の体温ならば、高
熱を発している状態です。「日本が亜熱帯化しつつある」という話を耳にした時に、いくら何でも
と疑っていましたが、信じたくないことが起こっているのでしょうか。

さて、現在(14:00 現在)「熱中症警戒アラート」が本県を取り囲むように全国21府県に発令さ

れています。このアラートとは、令和3年4月から、環境省と気象庁が連携し、危険な暑さへの注意を呼びかけ、「熱中症予防行動」をとることを促すための情報です。

本町としまして、奈良県に「熱中症警戒アラート」が発令された場合には、「外での運動は原則禁止とし、室内での活動に切りかえる等の対応をする」よう各学校に通知し、注意を呼び掛けています。体育の授業における運動場での活動をはじめ休み時間（中休みやお昼の休み時間）にドッジボールやおにごっこ、一輪車等の外遊びを楽しみにしている児童、中学校の運動部活動の外での活動が出来なくなることから、子どもたちには残念な気持ちを抱かせるわけですが、何よりも大切な、皆さんの「命にかかわる安全を優先した対応」です。先生方の指示をしっかりと聞き、適切な行動を心がけるようくれぐれもお願いをします。

ご家庭におかれましても、ニュース等情報の入手等をお心がけください。また、熱中症予防において先ずは水分補給がとても大切です。この季節、これまでより大きめの水筒に切り替えるなど、水分が十分に摂れる状態の確保をお願いします。また、登下校時の帽子や日傘の活用等、お子様とご相談し適切なご対応をお願いいたします。

【朝のエピソード】

4月当初から役場西側の交差点で、朝から子どもたちの登校の見守り活動を、地域の方と一緒にさせていただいています。最初は、見知らぬおじさんから慣れ慣れしく声をかけられる事に、戸惑い気味の子どもたちでしたが、2・3カ月も経つと、さすがに安心感が芽生えたのか、あいさつとびかい、声かけした際の表情もかなり和らいで来ています。

先月の6月中頃の話ですが、女子中学生が大きくとても重そうな楽器ケースを持って登校してきました。聞くと「ホルン」が中に入っているとの事、おせっかいにも学校まで手伝うことを申し入れたところ、笑顔で謙虚に丁寧に断られ、自力で登校して行きました。その数日後に開催された「あじさいコンサート」で、平群中吹奏楽部の演奏を聴かせていただきましたが、その見事な演奏ぶりや表現力、何より音の迫力に圧倒されました。ホルンの子どもも含め演奏してくれた全員に「ブラボー」と心の底から拍手をしました。

【おわりに】



今後、子どもたちや保護者の方々、地域の方々とのふれあいや交流を通してのエピソードをはじめ、私自身気がついたことや見えたこと、聞いたこと、教わったことなど、「通信」を通してお伝えしていきたいと考えます。

今後とも、何卒ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。